

特典コースター製作佳境

個人サポーター 4月から募集



青い海と
森の
音楽祭

10/31-11/8

10月末に開幕する「青い海と森の音楽祭2026」（東奥日報社などで行く実行委員会主催）の個人サポーター向け特典グッズ「あおり藍染めコースター」の製作が本格化している。26日には青森市の就労支援事業所「待望園」で縫製が行われ、帆布製のコースターを同園利用者がミシンで仕上げた。

コースターは同市の布製品製造販売の「インディゴ プランニング」がデザインした完成品を参考に、同園の利用者が縫製。音楽祭の藍染めグッズ製作で生じた端切れを14センチ四方に仕立て、布端に白糸で丁寧にステッチを施した。

同園では昨年、音楽祭のアウトリーチ

（出前演奏会）が行われた。縫製に当たった黒瀧純さん（47）は「コースターを使っていたただく方々に喜んでもらえる商品を作りたい」と話した。

今年の個人サポーター募集と更新受け付けの開始は4月の予定。サポーターには藍染めコースターのほか、チケット販売の先行案内など各種特典を用意する。

また、同実行委は県内の学校や介護・福祉施設などに、同

藍染めコースターを縫製する待望園の利用者



音楽祭芸術総監督の沖澤のどかさんらが出向いて演奏するアウトリーチの訪問先を3月2日まで公募している。問い合わせは同音楽祭事務局（東奥日報社事業局内、電話017・718・1135）へ。
（葛西憲悟）